

陳 情 文 書 表		
陳 情 第 1 6 号		令和5年 11月 20日 受 付 令和5年 11月 27日 審査依頼
件 名	道の駅に関する陳情	
代 表 者	住 所	綾瀬市深谷中3-4-5 JAさがみ綾瀬営農経済センター内
	氏 名	綾瀬市園芸協会 会長 田 中 浩 一

—— 陳 情 の 原 文 ——

### 趣旨

全国的な人口減少や少子高齢化の進行により、生産年齢人口も減少し後継者不足や働き手の確保などの課題が見られ、産業や地域活力の衰退が懸念される中、第1次産業である農業においても同様の課題に直面しており、持続可能性の低下から将来の農業に不安を覚える状況にあるが、今後の農業を活性化していくための一つの手法として道の駅の整備が考えられる。

市は綾瀬市総合計画2030において、稼ぐ視点により地域活性化やにぎわいの拠点として道の駅の整備を掲げていることから、新鮮野菜の直売や商品開発による特産品を使用した商品の高付加価値化のほか体験農園により農に触れる機会を創出し、魅力を感じてもらうなど農業振興に大きな期待ができることから、市と議会が連携し、早期に整備することを強く求める。

### 理由

今や道の駅は言うまでもなく、旅先の目的地となっており、全国的に人気の施設であるが、特に地域振興施設となる直売所には、新鮮な野菜や特産品などを買い求める来客者で大いに賑わっている。道の駅が整備されることは、就農者にとって新たな販路拡大や高収益化が見込まれるほか、新規就農者の発掘や担い手の育成及び確保にも

つながり、将来の農業がさらなる発展をする契機となることから、就農者が積極的に市の道の駅事業に参画し、協力することによってより良い道の駅として整備され今後の活用も大いに期待できるものである。

以上の理由により、陳情いたします。